

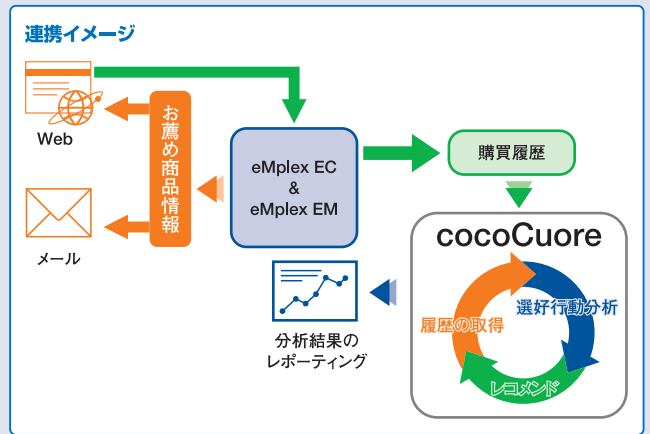
新商品 購買履歴をリアルタイムに分析し、ECビジネスのさらなる販売促進を実現！ 「eMplex CRMシリーズ」に「cocoCuore」を連携

NTTソフトウェアとイーシステム株式会社、エンプレックス株式会社は、統合型CRMパッケージシリーズのeコマースソリューションモジュール「eMplex EC（エンプレックス イーシー）」とeマーケティングソリューションモジュール「eMplex EM（エンプレックス イーエム）」に、NTTソフトウェア製品のOne to One履歴分析エンジン「cocoCuore（ココクオーレ）」を連携し、ECビジネスにおける販売促進をサポートします。

「eMplex EC」は、ECサイトの構築・運営に必要な機能である注文受付から決済・配送・在庫管理までの一連のワークフローをオールインワンで提供するパッケージ製品です。この「eMplex EC」で構築したECサイトの商品紹介ページで、顧客が好みの商品を参照した際に、その商品の購入者たちが、どのような別商品を購入しているかという併買傾向の分析を「選好行動分析フィルタリング技術（※）」で行い、関連する商品を紹介する「cocoCuore」と連携することにより、より一層の販売促進を可能にします。さらに、購買後のサンキューメールや購入サイクルに合わせたプロモーションメール、ロイヤルカスタマー向けのキャンペーンメールなどのECサイトと連携したさまざまなメールマーケティングを実現する「eMplex EM」が配信するキャンペーンの内容に、併買傾向の分析により得られた情報をもとに、顧客ごとにおすすめの商品を紹介できる「cocoCuore」を連携することにより、戦略的なマーケティングの実現が可能となります。

「eMplex EC」と「eMplex EM」をご利用されているお客様、および導入をご検討されているお客様に、「cocoCuore」との連携により、CRMコンサルティング業務から顧客ごとのきめ細やかな購買履歴分析を行うことで、ECビジネスにおける販売促進をサポートするオンラインマーケティングソリューションが提供できるようになります。

※NTT研究所のトラフィック分析技術が生んだ新しいノイズカット技術で、購買履歴のみで高精度分析を実現します。



お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 エンタープライズ・ソリューション事業グループ 営業担当
TEL(03) 5782-7341 URL <http://www.ntts.co.jp/products/empec/detail/interaction.html>

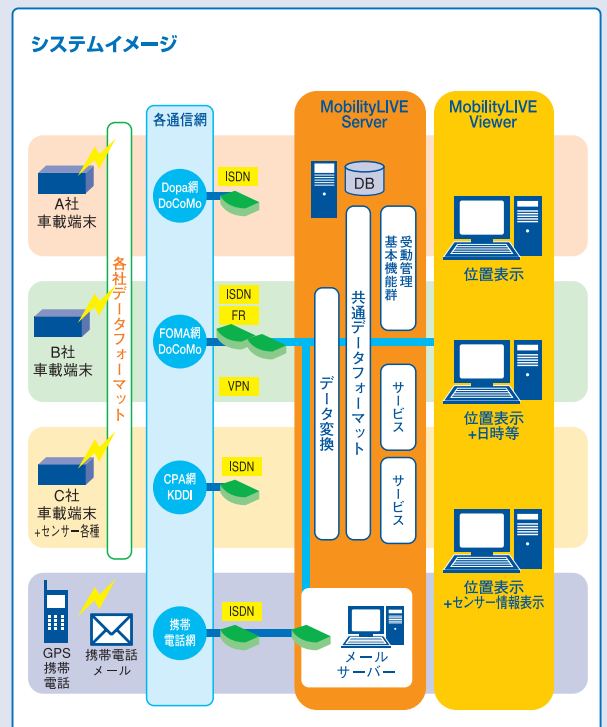
新商品 GPS車載端末や通信キャリアを選ばない汎用性と拡張性を備え、柔軟なシステム構築を実現 動態管理システム「MobilityLIVE」を販売開始

NTTソフトウェアは、さまざまなGPS車載端末や通信キャリアに対応できる拡張性の高いセンターシステムを備えた動態管理システム「MobilityLIVE（モビリティライブ）」の販売を開始しました。

「MobilityLIVE」は、配達などで移動している車両の現在位置をリアルタイムに表示する管理システムで、選択するGPS車載端末に合わせてカスタマイズすることによって、車両の位置情報だけでなく、作業中といったステータスや、車両に取り付けられたセンサー情報なども把握できるようになります。これにより、管理者、運転手の負担が軽減し、より迅速で効率的な動態管理が可能になります。また、「MobilityLIVE」は、小規模事業所から大規模事業所までを広範囲にカバーできます。

これまでの動態管理システムにはない「MobilityLIVE」の特長は以下のとおりです。

- 1 車載端末を選ばない拡張性の高いセンターシステム**
市販されている複数のGPS車載端末から、お客様の用途や予算に応じたGPS車載端末の選択が可能になります。
- 2 コストを抑えたカスタマイズ**
機能追加のためのインターフェースを備えているため、既存の業務システムとの連携からカスタマイズまでを配慮したシステム構築ができます。多様化・多角化するさまざまなニーズへの対応が短期間で行えるため、コスト削減が可能です。
- 3 運転手の安全性を考慮したセンター主導型**
車両にはGPS車載端末を乗せるだけで、運転中にボタンを押すといった動作を必要としないため、安全に使用することができます。
- 4 事業規模に合わせたシステム構成が可能**
地図を表示するクライアント端末を増設することにより、複数拠点で同時に運行状況を確認できます。「MobilityLIVE」による新しい動態管理システムにより、運送事業の安全性と効率化の向上を実現するだけでなく、車両運行の適正化による交通渋滞の緩和や石油資源の有効活用など、物流事業が抱えるさまざまな課題の解決にも貢献します。さらに、移動体による環境監視など、環境問題に貢献できるシステムとしての拡張も視野に入れ、ソフトウェア製造業として、本業での環境活動を実施していく予定です。NTTソフトウェアは、このように、優れたソフトウェアの力で、端末や乗り物に依存することなく、移動体がシームレスに情報をやり取りできるテレマティクスソリューションを提供します。



お問い合わせ先：
NTTソフトウェア株式会社 モバイル&セキュリティ・ソリューション事業グループ 営業SE部門
TEL(03) 5782-7261 URL <http://www.ntts.co.jp/products/mobilitylive/>

ニュース NECソフト、NECネクサソリューションズと共同で実現

「SpaceBrowser」適用の第一弾「品川プリンスホテル施設案内」を試験的に実施

NTTソフトウェアは、大量の情報を三次元空間上に配置しクルージングできる新世代ブラウザ「SpaceBrowser（スペースブラウザ）」の最初の具体的な適用を、品川プリンスホテル施設・館内案内で実施しました。

品川プリンスホテルは、ホテルとエンターテインメントの融合をテーマに、3680室の客室や各種宴会場、レストラン、映画館、アイマックスシアター、ボウリング場、水族館、アトラクションなど、ビジネスから家族での滞在など幅広く利用できるホテルです。

「SpaceBrowser」の品川プリンスホテルでの適用は、従来の手法では不十分だったアクセシビリティを、「SpaceBrowser」のダイナミックな表現力、総観覧性の特徴を生かすことによって、大幅に向上させることを狙っています。「SpaceBrowser」を用いた当該施設・館内の案内タッチパネルは、新館ロビーに設置され、大規模で多種多様な施設・店舗をさらに分かりやすく、エンターテインメント性に富んだ表現で案内しました。

品川プリンスホテル施設・館内案内は、「SpaceBrowser」の持つ、①膨大な情報を三次元空間上に整理し、全貌と個々の情報を同時に認識させる特徴、②インタラクティブに閲覧者の好みの視点で、三次元クルージングを可能とする特徴を生かした具体的な事例です。NTTソフトウェアでは、その効果を検証するとともに、来場者の具体的な反応などを得て、より効果的な「SpaceBrowser」の適用方法の模索、洗練された操作法の実現を狙っていきます。なお、当案内は、約1カ月で導入されており、導入の迅速性、容易性も実証することができました。

この品川プリンスホテル施設・館内案内は、「SpaceBrowser」開発を担当するNTTソフトウェアと、コンテンツ配信エンジン「SITESQUARE（サイトスクエア）」の開発およびシステム構築を行うNECソフトウェア株式会社、NECネクサソリューションズ株式会社の3社が共同で設置したものです。「SpaceBrowser」の販売、導入に関する代理店契約を結び、今後も共同でシステム提案を行っていきます。



品川プリンスホテルに設置された「SpaceBrowser」

お問い合わせ先：

NTTソフトウェア株式会社 ネットワークサービス・ソリューション事業グループ 営業SE部門 TEL(03)5782-7045

ニュースリリース詳細：http://www.ntts.co.jp/whatsnew/2005nr/051121_NR.html

SpaceBrowser詳細：<http://www.ntts.co.jp/products/spacebrowser/>

ご案内 時を読み風を起すソリューション提案誌「iL Vento（イル・ヴェント）」

バックナンバーをご希望の方に差し上げます

NTTソフトウェアの情報発信媒体として、皆様のライフスタイルやビジネススタイルの新たな変革のヒントになればと願って発行してまいりました「iL Vento」も、おかげさまで3周年目を迎えました。これまでのバックナンバーをご希望の方は、氏名、送付先住所、希望号、冊数をiL Vento編集室までご連絡ください。



創刊号

『what's UBIQUITOUS?』



No.2

『動きはじめた
次世代コミュニケーション』



No.3

『価値創造をその手に』



No.4

『今ははじまる！
情報セキュリティ新時代』



No.5

『NTTソフトウェア
創業20周年記念号』



No.6

『For Win!
価値創造が拓く、
ビジネスチャンス』

お問い合わせ先：

NTTソフトウェア株式会社 iL Vento編集室

E-mail vento@cs.ntts.co.jp URL <http://www.ntts.co.jp/ilvento/>